

はじめのおにぎり作り

はまうら小学校 二年 長谷川 拓斗

ぼくには、おねえちゃんがいいます。おねえ

ちゃんは中学生で、すいそうがくぶでホルン

をふいています。大会で上えつに行くことに

なつたので、ぼくはおねえちゃんのために、

おにぎりを作ってあげることにしました。

まずお米をときました。ゴシヤリシヤリ

と言う音がしました。サラサラ、ひんやりと

したかんじが、きもちよかったです。

その後、すいはんぎに入れて、スイッチをボチ

ッとおしました。

つきにたぎ上がった。たごはんは、ふりかけを

まぜました。しそかつおごちりめんじやこの

2しやるいもを作りました。おねえちゃんか

いそうがくの大会でかんばれるように、お

いしくなあれと言いながらまがきました。

さいごに、おにぎりを包みました。ここで

ぼくがおもったことは、かうしてたく前のご

はんは「米」というのに、たいた後のはん

は「ごはん」と言うのがな、という事です。
それはともかくにおりはじめました。おかあ
さんがぼくの手の上にテープをのせ、その上
にははんぎのせしてくれました。たまたまのこ
ばんはあつたかったです。おねえちゃんは
「かたどきはおにぎり」と言いました。
そして、「お母さん」といっしょにおにぎり
をきりました。おかあさんのおにぎり
はさんかくで、やわらかいおにぎりです。でも
ぼくのおにぎりはかたくおにぎりです。おにぎ
り。まるい形になるのはあまりよくないけ
おねえちゃんが言ったとおり、バスでく
れないようにとおもって、「ジャム」
とおにぎりました。
かたどきに食べるのはむづかしかったけれど、お
ねえちゃんがにおにぎりをたべた後、おいしいとお
もってくれたらうらやましいし、大会でかんぱ
しくれるといいな、とおもいました。こんど
はお父さんとお母さんにも作ってあげたいで
す。